

8.7 水利用

8.7.1 調査事項

調査事項は、表 8.7-1 に示すとおりである。

表8.7-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・水の効率的利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・節水設備の状況
ミティゲーションの実施状況	・トイレ手洗いセンサーや節水型トイレ等の一般的な節水対策機器の使用を予定している。 ・有明水再生センターの再生水利用の計画を検討している。 ・利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める。

8.7.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.7.3 調査手法

調査手法は、表 8.7-2 に示すとおりである。

表8.7-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

	調査事項	水の効率的利用への取組・貢献の程度
	調査時点	施設竣工後とした。
調査期間	予測した事項	施設竣工後2019年12月～2022年3月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後2019年12月～2022年3月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後2019年12月～2022年3月とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	施設へのヒアリングによる方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び施設へのヒアリングによる方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び施設へのヒアリングによる方法とした。

8.7.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. 水の効率的利用への取組・貢献の程度

本事業で整備した有明体操競技場は、2019年10月に竣工し、2019年11月に世界トランポリン競技選手権大会等が8日間開催された。大会後は、本体建物を東京都が引き取り、展示場として活用することとしている。そのため、現在は展示場への転用改修工事が行われている。

以上のことから、展示場としての施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点の水利用に関する調査は実施できなかった。なお、施設整備においては、水の効率的利用の取組として、有明水再生センターの再生水の利用、トイレ手洗いセンサーや節水型トイレ等の設置等による節水対策を実施する。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表8.7-3に示すとおりである。なお、水利用に関する問合せはなかった。

表8.7-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・トイレ手洗いセンサーや節水型トイレ等の一般的な節水対策機器の使用を予定している。
実施状況	トイレの手洗いに自動水栓を採用するとともに節水型トイレ等の節水対策機器を設置した。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ手洗いセンサー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>節水型トイレ</p> </div> </div>	
ミティゲーション	・有明水再生センターの再生水利用の計画を検討している。
実施状況	有明水再生センターの再生水をトイレ用水として利用する。
ミティゲーション	・利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める。
実施状況	利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める予定である。